

令和3年(2021年)3月26日

小麦栽培農業者 様

湖東農業協同組合

【公 印 略】

小麦の赤かび病防除および実肥の施用について(情報提供)

早春の候、皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃は農協各事業に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年産小麦の開花予想について、農林61号は4月25日頃になる予測をしております。

つきましては、今年の防除及び実肥施用時期については、県・市・NOSAI・JAで組織する防除協議会において協議した結果、下記の日程にて一斉防除および実肥の施用をお願い申し上げます。

なお、本年産小麦についても、引き続き赤カビ防除のため最善を尽くす必要があり、降雨などに備えると共に防除効果を高めるため**2回の体系防除**をお願いします。

※同様の内容で農業組合長様へ通知を致しております。

記

防 除 基 準 日

1回目防除	<u>4月22日(木)～4月26日(月)</u>	(開花期)
	ワークアップ粉剤	3kg/10a
	ワークアップフロアブル	10～16倍/10a
2回目防除	<u>4月29日(木)～5月3日(月)</u>	(1回目防除から1週間程度)
	トップジンM粉剤	3kg/10a
	トップジンMゾル	8倍/10a

※防除基準日は3/25現在の生育状況および気象予報を参考にしていますので、防除基準日に変更する場合には、後日ホームページ等でご連絡いたします。

※JA湖東ホームページにても小麦の赤かび病防除および実肥の施用の情報を発信いたしますのでご確認ください。

JA 湖東

JA 湖東で
検索

<https://www.ja-koto.or.jp/>

(裏面に続く)

実肥施用基準日

施用日 4月29日(木)～5月3日(月)

一般麦 硫安 10～15 kg/10 a

※種子麦については実肥の施用は不要

(穂肥にセラコート R2500 を施用しているため)

実肥施肥技術

※基肥一発肥料を使用している場合、タンパク含有や容積重などの品質評価基準(直接支払交付金【数量支払】に影響)をクリアし、品質向上のために大切な技術ですので必ず施用して下さい。

※穂数が多い圃場は量を多い目に、また穂数が少ない圃場や葉色が極端に濃い圃場は、量を減らして下さい。

小麦の品種変更について

現在、JA湖東にて栽培しております「農林61号」を、令和4年播き令和5年産小麦より、滋賀県の奨励品種の「びわほなみ」に変更させていただきます。

農林61号については、長年栽培して頂いておりますが、縞萎縮病・黒節病の被害による収量の減少が問題であることもあり、実需の評価が高く収量の向上が期待できる「びわほなみ」に品種を変更させていただきます。

それに伴い、今後、「びわほなみ」の栽培研修会を開催する予定ですので、その折にはご出席賜りますよう宜しくお願いいたします。

なお、種子小麦の生産についても同様に品種変更をさせていただきますが、切り替えについて、混種防止対策を徹底し進めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

担当 JA湖東 営農販売課(営農指導)
IP 050-5801-0551
NTT 0749-45-1111
FAX 0749-45-0904
Eメール shidou@jakoto.jas.or.jp